

第8回 マダガスカル口唇口蓋裂医療協力 ～ 参加した学生の感想 ～

医学部5年 小林和貴

信号や高速道路は存在せず、鉄道も機能しておらず、道路には車や自転車、人力車、牛車などが入り混じっている世界を想像してみてください。これがマダガスカルに到着した直後の私の第一印象でした。

私は公衆衛生やインフラストラクチャーに興味があり本プロジェクトに参加しました。日本で生活しているとき、交通や水道、電気など全てのインフラが高水準だと同時に自分の無力さを感じることが多々ありました。しかし、日本の臨床実習とは異なる視点から医療に向き合うことができ、本当に参加してよかったです。



ベスト対策のポスター

歯学部5年 家泉裕香

私は本年度のマダガスカル医療協力で、歯学部の学生代表として参加させていただきました。フィールドワークの時間を除きほとんど全ての手術と術前術後の回診を見学・アシストさせていただきました。先生方と看護師の方から詳しく解説を受けました。今回の医療協力で口唇口蓋裂の手術に関する理解を深めただけでなく、それだけでなく、視座もあって手術に臨んでいるのかという新しい学びや発見もありました。

歯科分野では歯科矯正学講座の中納先生のご指導の下、術前の歯磨き指導や印象採得、口腔内写真撮影をさせていただきました。う蝕の多さ、口腔衛生状態の悪さが印象的でしたが、フィールドワ



歯学部5年 家泉裕香

薬学部5年 植木拓哉

私たち学生は今回の医療協力で手術見学やフィールドワークなどを行いました。手術見学では、術野での見学をさせていただきました。薬学部学生は手術室に入っで見学することがほとんどありません。実際、日本で手術見学をしたことがなかったのが初めて体験した。執刀医、麻酔科医、看護師がどのようなことをしているかという連携

私たちが学んだのは、術前検査の施行がままならない状態で、限りある物資と情報で最善な医療を行う医療人の姿を見ることができ、自分も協力したいという思いが強くなりました。

フィールドワークは、外

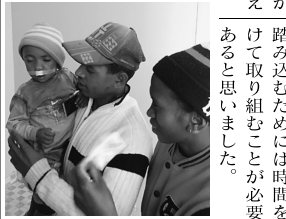


マダガスカルの薬局

保健医療学部 看護学科3年 長内優子

私は不安を感じる患者さんやご家族とコミュニケーションを持つために、術前で泣いてしまっている子供に近くについて折紙で作った動物をあけたり、スマートフォンを用いて遊んだりしました。なかなか泣き止まない子どもが多かったですが、その中でも少し安心してくられて落ち着いた子どももいて言葉が通じないながらも関わりをもつことができたのが患者さんへの不安に寄り添えたと感じました。

マダガスカルにおける医療の現状は5歳以下の子供の死亡率が約50%もあり、貧困率が71%もあります。アベマリア病院の中で生活していると日本との貧富の差を感じなくなってきました。



患者さんとそのご家族

歯学部5年 西田訓子さんが基礎部門の2位に入賞 スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム

西田訓子さん(歯学部5年)が第24回スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP)チ・プログラム(SCRP)日本代表選抜大会(日本歯科医師会)で、基礎部門の2位に入賞した。

同大会は歯科学生の研究意欲の向上と歯科医療の発展を担う歯科学生の育成を目的とし、日本歯科医師会主催で毎年開催される英語による研究発表会。ことしは全国26の歯学部・歯科大学から各1名の学生が研究発表を行った。

日本臨床分子形態学会で受賞 向井大学院生が優秀演題

第50回日本臨床分子形態学会総会・学術集会(北里大学大村記念ホール)において、向井俊平大学院生(医学研究科臨床病理診断学)が優秀演題を受賞した。

向井大学院生は自身の演題「CLEM法を用いた腎血管(Cleomax)検出の試み」で、今度で顕微鏡での検出が困難であった血管内皮層のCleomaxという薄層を、光学顕微鏡と電子顕微鏡の観察画像を組み合わせて検出する技法について発表し、全73演題の中から優秀演題賞に選ばれた。



左から2人目 向井俊平大学院生

2018年昭和大学は創立90周年を迎えました

記念式典・祝賀会を来年(2019年)に挙行政!

開催日: 2019年11月10日(日)



◎記念式典

会場: 昭和大学上條記念館

記念講演や上條記念館の披露会を予定
昭和大学上條メモリアル合唱団による第九合唱を実施

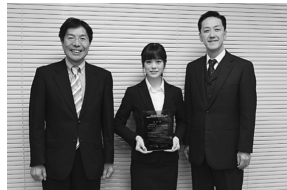
◎記念祝賀会

会場: グランドプリンスホテル新高輪 飛天

昭和大学上條メモリアル合唱団による合唱を実施

創立90周年記念事業(上條記念館建設事業)募金へご協力いただいた方は式典・祝賀会に招待いたします。

続報は随時!



(中央) 西田訓子さん

最後に、親身になって研究を指導してくださった歯科薬理学講座の先生方、応援してくれた友人と家族に心から感謝いたします。